

平成 30 年 9 月 19 日
September 19, 2018

大学院学生各位
To All Graduate Students

平成 30 年度
基盤医学特論 開講通知
Information on Special Lecture Tokuron 2018.4-2019.3

題目：「小児・周産期医療における小児外科の役割—小児外科は小児・周産期医療にどこまで貢献すべきか?—」

Title: Pediatric Surgery for Children

講師：米倉 竹夫 先生
(近畿大学医学部奈良病院 小児外科 教授)

Lecture: Takeo Yonekura, M.D., Ph.D.

日時：平成 31 年 1 月 25 日(金) 18 時 00 分より (90 分)
Time and Date: January 25 (Fri.), 2019 18 : 00~ (90 minutes)

場所：基礎研究棟別館 修士講義室

概要：

小児・周産期医療における小児外科の役割について、当科でのこれまでの診療をもとに、下記の 3 つの観点から報告する。

1. 出生前診断と小児外科

出生前診断の対象とする疾患は非常に多彩で重複異常症例も多く、その診断だけでなく治療、長期 QOL や予後についても熟知している必要がある。奈良県では当科が出生前診断を担当しており、ここでは問題となった症例を中心に、出生前診断における小児外科の役割についてのべる。

2. 小児救急における小児外科の役割

社会的に小児医療は“小児という特殊性”から、小児の救急疾患でもその専門性が強く求められている。当科では“小児外科の責務”と考え、2005 年 9 月から奈良県の小児 3 次救急 (24 時間対応) を開始した。ここでは高エネルギー外傷症例の診療を中心に、当科での重篤小児救急症例への診療状況について報告する。また本邦における小児・周産期領域の災害医療対策を紹介する。

3. Advanced 小児外科手術への挑戦

小児外科では種々の外科疾患に対し外科治療を行う必要がある。その中には極めて希少で難度が高いものがあり、ここではその幾つかを手術ビデオを含め提示する。

言語：日本語 **Language: Japanese**

※関係専門分野・講座等の連絡担当者：小児外科学 (内線 2959)

Contact: Department of Pediatric Surgery(Ext.2959)事前の申込みは不要です。No Registration Required.

医学部学務課大学院係
Student Affairs Division, Graduate School of Medicine